

山口・長門の 地域伝統芸能体験ワークショップ

参加費無料

小・中学生のワークショップ参加者募集中



伝統芸能をやっている私は、かなりカッコいいと思う

8月11日(金・祝)

第1回 長門市内の地域伝統芸能体験ワークショップ

10:00~12:00▶湯本南条踊(長門市) / 14:00~16:00▶滝坂神楽舞(長門市)

8月12日(土)

第2回 山口県内の地域伝統芸能体験ワークショップ

10:00~12:00▶萩民謡「男なら」(萩市) / 14:00~16:00▶島田人形浄瑠璃芝居(光市)

8月13日(日)

第3回 山口県内の地域伝統芸能体験&邦楽器ワークショップ

10:00~12:00▶住吉神社「御船謡」(萩市) / 14:00~16:00▶和太鼓ワークショップ:長門市和太鼓連盟(長門市)

▶ワークショップへの参加、内容のお問い合わせは
山口県民芸術文化ホール

 **ルネッサながと**
TEL : 0837-26-6001

▶ワークショップへの参加費は無料です。参加には事前登録が必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

■主催:公益財団法人長門市文化振興財団

■会場:ルネッサながと[劇場]

■後援:山口県、山口県教育委員会、長門市、長門市教育委員会、長門文化協会

■協力:ながとテレビ、萩テレビ

山口、長門が誇る5つの伝統芸能と和太鼓による 全6講座の充実したプログラム

山口、長門には古くから神楽や舞など、未来に継承すべき文化的価値の高い、多くの地域伝統芸能が息づいていますが、地域の少子高齢化や、コロナ禍による稽古の機会の制限などによって、これら多くの伝統芸能が継承者の育成に苦しんでいます。そこで、地元山口、長門から、継承に強い意欲をお示しいただいた5つの地域伝統芸能に、伝統芸能の継承に欠かせない和太鼓習得のためのプログラムを加え、小・中学生を対象に、それぞれの成り立ちや歴史、伝統芸能に込められた意味などを学びながら継承の大切さを理解していただくとともに、見学、体験を通じてその魅力に触れてもらうことを目的としたワークショップを実施します。この機会にぜひご参加いただき、地域の伝統文化の魅力を体感してください。

8月11日(金・祝) 第1回 長門市内の地域伝統芸能体験ワークショップ

①湯本南条踊(長門市)

【山口県指定無形民俗文化財】

9月9日に、大寧寺と湯本住吉神社で踊られ、9月10日の赤崎神社の例祭に奉納される踊り。天正5年(1577)~天正10年(1582)、伯耆国(今の鳥取県)の南条元統と毛利家臣の吉川元春との戦いに関係のある踊りで、岩国藩の「吉例踊り」として伝えられていたものを長門依山村に住んでいた藩士の数名が、吉川家の許しを得て習い覚え、依山に伝えた。それがさらに、延宝2年(1674)、湯本村の庄屋・平川某に伝えられ、赤崎神社祭礼の奉納踊りとして続いている。国により記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されている。

●時間▶10:00~12:00
●講師▶湯本南条踊保存会



②滝坂神楽舞(長門市)

【山口県指定無形民俗文化財】

10月21日の黄幡社例祭に奉納される神楽。滝坂の氏神・黄幡社は、寛永14年(1636)に迎えられたと言われているが、明和元年(1764)ごろに、3年続きの大飢饉と牛や馬の疫病から免れようとして、厄払いを祈る神楽を奉納したと伝えられている。明治の初め、神楽は農民の手に移り、農家の長男を舞子とする習わしとなっており、演じられる曲目の中には、荒神を祀る古い儀式を思わせるものが含まれていて、里神楽として貴重なものと考えられている。国により記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されている。

●時間▶14:00~16:00
●講師▶滝坂神楽舞保存会



8月12日(土) 第2回 山口県内の地域伝統芸能体験ワークショップ

③萩民謡「男なら」(萩市)

山口県を代表する民謡。文久3年(1863)当時、尊皇攘夷を掲げる長州藩は、下関・関門海峡を通過する外国船に砲撃。しかし翌年、四国連合艦隊(アメリカ・イギリス・フランス・オランダ)の報復によって大きな被害を受けた。そこで、萩に残る人々も外国船の襲来に備えて、日本海に面した菊ヶ浜に約2kmの土塁を築いた。その築造には特に武士の妻や奥女中の功績が大きく、土塁は通称「女台場(おなごだいば)」と呼ばれるようになった。この作業の際、士気を鼓舞するために唄われたのが「男なら」で、萩女の心意気を唄ったもの。

●時間▶10:00~12:00
●講師▶男なら保存会



④島田人形浄瑠璃芝居(光市)

【山口県指定無形民俗文化財】

里人から「祇園さま」として親しまれ敬われてきた松浦神社で、8月4日と5日に奉納上演される人形浄瑠璃芝居。室町時代、島田川河口の島田庄に疫病が流行したときに、農民たちが、病気が治まることを願い、串を刺したキュウリに着物を着せて人形とし、人形浄瑠璃芝居を奉納したのがはじまりといわれている。500年の伝統をもつ地域民俗芸能として昭和42年(1967)に山口県の無形民俗文化財に指定された。

●時間▶14:00~16:00
●講師▶島田人形浄瑠璃芝居保存会



8月13日(日) 第3回 山口県内の地域伝統芸能体験&邦楽器ワークショップ

⑤住吉神社「御船謡」(萩市)

【山口県指定無形民俗文化財】

毛利氏の御座船唄として、藩主が乗船するときや新造船が進水するとき、また年頭に御船倉で代官が乗り初めの行事を催すときに演唱された。7月下旬の吉日に行われる住吉神社の夏大祭の「御祭事始め」に神社の拝殿で演じられ、8月3日の御神幸祭には萩のまちを巡行。萩藩の御座船を模した長さ8m、巾2mの木造の船には、真鍮金具を配し両舷に極彩色の「浪に竜」が描かれている。この「お船」に「地謡組」が乗船し、演奏しつつ神輿に供奉。

●時間▶10:00~12:00
●講師▶住吉神社御船謡保存会



⑥和太鼓ワークショップ(長門市)

講師を務める長門市和太鼓連盟は、長門市で活動する、長門和太鼓オーケストラ「翔門」、和太鼓「鼓波会」、みず音頭を育てる会「青波」、「三隅清風太鼓」から成る。平成17年の市町村合併による新長門市誕生を機に結成。以後、ながと和太鼓フェスティバルや和太鼓ワークショップなどを定期的に開催し、和太鼓文化の普及に努めている。

●時間▶14:00~16:00
●講師▶長門市和太鼓連盟



●お申し込み方法

ルネッサながとへ直接お電話いただくか、公式ホームページ内の[お問い合わせ]フォーム<https://www.renaissance-nagato.jp/contact>に必要事項をご記入いただき「お問い合わせ内容」に学校名、年齢、学年と「山口・長門の地域伝統芸能ワークショップ参加希望」と記入していただき、参加したいワークショップの番号を上記から選んで記入してください(複数参加も可)。各ワークショップの定員は20名です。定員に達し次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

●ワークショップへの参加、内容のお問い合わせは

山口県民芸術文化ホール
ルネッサながと

お問合せ電話番号
公式HPアドレス

0837-26-6001
<https://www.renaissance-nagato.jp/>